国民健康保険傷病手当金支給申請書(医療機関記入用)

患者氏名											
傷病名					初診日		令和	年	月	日	
発病年月日	令和	年	月	日	ı						
労務不能と認	令和	年	月	日か	46	発病の原因					
められた期間	令和	年	月	日ま	で						
うち、入院	 令和	年	月 日から		45	療養費用の種別		□ 国保		公費(その他)
期間	令和	年	月 日まで		転帰		□ 治癒 □ 中止 □ 繰越 □ 転医				
診療日及び入	令和 年 月		1 2 16 17	3 4 18 19		8 9 10 23 24		13 14 28 29 30	15 31	診療 実日数	目
院していた日 を○で囲んで ください。	令和 年 月		1 2 16 17	3 4 18 19		8 9 10 23 24	11 12 25 26 27	13 14 28 29 30	15 31	診療 実日数	目
\ /C \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	令和 年 月		1 2 16 17		5 6 7 20 21 22	8 9 10 23 24		13 14 28 29 30		診療 実日数	目
上記の期間中に	こおける「主た	こる症	三状及び	「経過」	「治療内容	くくない。	吉果、療養	&指導」等	(詳)	ノく)	
						手行		令和	П 4	年 月	日
						退	完年月日	令和	I 4	年 月	日
症状経過から見	見て従来の職種	重につ	ついて労	務不能	と認められ	れた医学	的な所見	I			
	ひきょ か よ れ)							令和	年	月	日
上記のとおり村	目遅めりません	U _o									
医療機関の所存	E地										
医療機関の名称	尔										
医師の氏名						(FI)	電話番·	号			

国民健康保険傷病手当金支給申請書(医療機関記入用)

	患者氏名	国保 二郎										
機関担当者が意見を記入するところ	傷病名	新型コロナウイ よる呼吸器疾患		初診日	令和	2 年 3	月 10 日					
	発病年月日	令和 2 年	手 3 月 10	Ħ								
	令和 年 月	令和 2 年	手 3 月 10) 日から	発病の原因	不詳						
		令和 2 4	手 3 月 3 1	LBまで								
	うち、 入院期間	令和 2 年	手 3 月 10) 日から	療養費用の種別	□ 国保 ☑ 公費 (感染症) □ 自費 □ その他						
		令和 2 年	手 3 月 3 1	し日まで	転帰	☑治癒 □ 中止 □ 繰越 □ 転医						
	診療日及び入院 していた日を〇 で囲んでくださ い。	令和 2 年 3 月	1 2 3 16 17 18	4 5 6 7 8 19 20 21 22 2	9 10 11 12	13 14 15 ► 28 29 3€ 31	診療 実日数 22 日					
		令和 年 月	1 2 3 16 17 18	4 5 6 7 8 19 20 21 22 2	9 10 11 12 3 24 25 26 27		診療 実日数 日					
		令和 年 月	1 2 3 16 17 18	4 5 6 7 8 19 20 21 22 2	9 10 11 12 3 24 25 26 27		診療 実日数 日					
	上記の期間中における「主たる症状及び経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等(詳しく)											
	新型コロナ感染 の結果陽性であ	り、肺炎の症状	犬がみられた	ため同日から	手術年月日	年 月 日						
	入院。2週間程 た検査において			3/31に実施し	退院年月日	令和 2 年 3 月 31 日						
	症状経過から見て従来の職種について労務不能と認められた医学的な所見											
	肺炎の症状の改善後も感染拡大防止の観点から、検査が陰性となるまでは入院が必要であったため、入院 期間は労務不能と判断した。											
					令和	2 年 4	月 10 日					
	上記のとおり相違ありません。											
	医療機関の所在地 △△県◇◇市××町1丁目2番3号											
	医療機関の名											
	医師の氏名	国保	四郎	(印) (屋)	電話番号	3 4 5 - 6 7	8 - 9 0 1 2					